

コンバインの転倒・転落、 動力部への巻き込まれに注意!

～地域みんなで進めよう 農作業安全～

秋の収穫期を迎え、コンバインなどの収穫機械による事故発生の恐れが高まる時期となります。事故の多くは、作業時の安全確認が不十分であったり、疲れや不注意によるものが主な原因で、農業機械の転倒・転落等による痛ましい死亡重大事故が今年もこれまでに多数発生しました。

皆で声を掛け合って周囲の安全確認を行い、しっかり休憩を取り、安全に作業をしましょう。

コンバイン等収穫機の事故防止のための注意点

★コンバイン動力部には巻き込まれない!
また、作業補助者にも注意徹底すること!



- ①コンバインのチェーンやカッターに詰まったワラ・ゴミを取り除くときは、**必ずエンジンを止めて**から、厚手の手袋をして除去作業を行う。(手袋していても、刃には直接触れない。)
- ②手こぎ作業は、刈り取りクラッチを切り、手袋や作業着の袖、アームカバーがチェーンに触れたり、引っかかったり、巻き込まれないように注意する。
- ③こぎ胴が回っている時は、こぎ残した穂などがあっても、送られているワラには絶対に手を触れない。
- ④エンジン始動前に、変速の中立・クラッチのOFFを確認し、「緊急停止ボタン」の位置を確認する。



★コンバイン作業時は周囲の安全を確認

- ①作業時はヘルメットを着用し、ほ場への出入り時にはブリッジを使い慎重に操作する。
- ②旋回や方向転換の際は、周囲の状況や人がいないことを確認する。特に夕暮れ時には後方の安全確認をしっかり行う。また、作業中は作業補助者と声を掛け合い、注意喚起を行う。
- ③ゆとりのある計画的な作業を行い、休憩時間を十分に取って無理な作業はしない。
- ④一人での作業はできるだけ避け、家族や仲間には作業場所と帰宅時刻を知らせる。
- ⑤地域や地区で開催される農作業安全講習会には積極的に参加する。

万が一の事故に備えて『労災保険』に加入しましょう!

一定の要件を満たせば、自営農業者本人が加入できる『特別加入制度』があります。

平成28年度 秋の農作業安全運動月間(9月15日～10月14日)
長野県・長野県農作業安全推進会議